

令和 8 年度

「運営に関する計画」

大阪市立阿倍野小学校

令和 8 年 4 月

大阪市立阿倍野小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

〈現状〉

令和 7 年度大阪市小学校学力経年調査の児童質問紙調査において、自己肯定感に関する「自分には良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、82.8%であり、大阪市平均より0.8ポイント上回っている。しかし最も肯定的に回答する児童の割合をみると本校児童の割合は、47.0%であり、大阪市平均より2.0ポイント下回っている。ただ、昨年度の本校児童の結果と比べると、肯定的に回答する児童の割合は3.7ポイント上昇している。いじめに関する「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合は94.4%であり、大阪市平均より1.6ポイント下回っている。また、最も肯定的に回答する児童の割合は80.5%であり、大阪市平均より2.5ポイント下回っている。

〈課題〉

子どもたちの自己肯定感を高められるように、日ごろから子どもたちの得意なことや挑戦したことを教職員が見逃さないようにし、ポジティブな声掛けや励ましを送り続けていきたい。また、毎学期おこなう「いじめ・いのちについて考える日」を中心に、各学年・学級で粘り強く訴え、教職員と子どもたちがともに「いじめはどんな理由があってもいけないことである」という強い意識を高めていきたい。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

〈現状〉

令和 7 年度大阪市小学校学力経年調査の結果、4年生の国語科、算数科、また6年生の理科において大阪市平均正答率を少し下回っているが、全教科の正答率の合計においては、どの学年も大阪市平均正答率の合計を上回っており、学ぶ力については、概ね備わっているといえる。児童質問紙調査について、考えを深めることに関する「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」では、最も肯定的に回答する児童の割合は47.1%であり、大阪市平均より5.5ポイント上回っている。運動に関する「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」に対して最も肯定的に回答の割合は61.7%であり、大阪市平均より7.5ポイント下回っている。

〈課題〉

主体的・対話的で深い学びとなるよう授業を工夫し、既習内容を生かし、自ら考え、友だちとの意見交流を通して、さらに自分の考えを深めたり広げたりできるようにする。体力向上においては、楽しく体を動かす機会を設け、子どもたちが運動やスポーツに興味関心をもち、より上手に体を使うにはどうすればよいか考え取組むことができるようにする。

【学びを支える教育環境の充実】

〈現状〉

子どもたちは、学習者用端末の操作に慣れ、目的に応じて進んで活用することができる。教職員は一人一人に寄り添い、各教科・領域の学習内容によって効果的に活用するために、いろいろな取り組みを考えたり、教材研究等を行ったりしている。

〈課題〉

今後の社会を見据え、子どもたちが情報機器を日常的に活用し、ICTを活用する能力を向上していく。そして、ICTを活用した個に応じた学びや協働的な学びを実現できるようにしていく。よりよい教育を提供するには教職員の健康も必要不可欠である。働き方改革を推進し、教職員がゆとりをもって、子ども一人一人に寄り添うことができるようにする。

中期目標

【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 令和 11 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保に努めている。」について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- 令和 11 年度末の児童アンケートにおける「相手の目を見て自分からあいさつをしている」「場に応じた正しい言葉づかいをするようにしている。」について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、対全国比が 1 を上回っている学年は維持し、下回っている学年は前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。
- 保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保に努めている。」について、肯定的に回答する保護者の割合を 85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 児童アンケートにおける「相手の目を見て自分からあいさつをしている。」「場に応じた正しい言葉づかいをするようにしている。」について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、対全国比が 1 を上回っている学年は維持し、下回っている学年は前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
- 時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立阿倍野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した

B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが目標を達成できなかった

D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○ 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。 ○ 保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保に努めている」について、肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ○ 児童アンケートにおける「相手の目を見て自分からあいさつをしている」「場に合った正しい言葉づかいをするようにしている」について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 毎月の生活指導部会や職員会議後の情報共有、日々の「心の天気」を活用することで、学校全体で安心して学校生活を送れる環境づくりをすすめる。	
指標 ・ 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。 ・ 年2回のQ-Uを活用し、3学期のQ-Uにおける「学級生活満足群」の割合を平均70%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 年3回の避難訓練を通して、非常時に安全に避難できるようにする。また、学期に1回の通学路点検、毎月の安全点検により、危険個所に対して早期に対応するとともに、「見守り隊」や保護者との協働による安全な学校づくりをすすめる。	
指標 保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保に努めている。」について、肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。	

取組内容③【基本的な方向２ 豊かな心の育成】 道徳の学習や学級活動、あべっこ班（たてわり班）活動、ペア学年での「なかよし集会」を通して、思いやりのある集団づくりをすすめることで、自分や他者を認め、大切にしようとする気持ちを育む。 指標 児童アンケート「あべっこ班での活動を通して、自分の良いところや友だちの良いところを見つけることができましたか。」について、肯定的に回答する児童の割合を 80% 以上にする。	
取組内容④【基本的な方向２ 豊かな心の育成】 年２回の「あいさつ運動」や代表委員会の活動、その他、授業中の発言や職員室への入室時の言葉など機を捉えて指導することで、場に応じたあいさつや言葉づかいができるようにする。 指標 児童アンケート「相手の目を見て自分からあいさつをしている。」「場に応じた正しい言葉づかいをするようにしている。」について、肯定的に回答する児童の割合を 80% 以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組内容】について（進捗状況を具体的に記述し、取組の成果や実施上の課題などを記述） ① ② ③ ④	
今後の改善点	
【取組内容】について（課題のあった取組ごとに、課題に対する改善点や方策を記述） ① ② ③ ④	

大阪市立阿倍野小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した

B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが目標を達成できなかった

D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○ 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、対全国比が 1 を上回っている学年は維持し、下回っている学年は前年度より 0.01 ポイント向上させる。 ○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 国語科の研究を行い、公開授業を各学年 1 回以上実施する。また、基礎的・基本的な学習内容についての理解を確かにするための取組（朝学習やチャレンジタイム、家庭学習の習慣を確立する取組など）を行う。	
指標 小学校学力経年調査における国語の平均正答率を、いずれの学年も対全国比より向上させる。	
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 児童が自分の考えをもち、話し合ったり発表したりする場を日々の授業や活動の中で取り入れる。	
指標 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。 児童アンケートにおける「自分の考えを伝えるときに、相手を意識して表現するようにしている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。	

取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 運動週間や「みんな遊び」により児童が運動する機会を増やすとともに、記録表を活用するなどの体力向上の意識が高まるような工夫をする。 指標 ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 ・ 保護者アンケート「学校は、子どもたちの体力向上に努めている」について、肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。	
取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 学校のきまりをもとに、規則正しい生活が健やかな成長につながることを理解できるようにする。また、保健強調週間における「元気アップカード」の活用や、毎月の「保健だより」、規則正しい生活習慣に関する掲示物の作成などを通して児童や保護者の意識を高める。 指標 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組内容】について（進捗状況を具体的に記述し、取組の成果や実施上の課題などを記述） ① ② ③ ④	
今後の改善点	
【取組内容】について（課題のあった取組ごとに、課題に対する改善点や方策を記述） ① ② ③ ④	

大阪市立阿倍野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した

B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが目標を達成できなかった

D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ○ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 ○ 時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。 ○ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXデジタルトランスフォーメーションの推進】 「キーボードチャレンジ」の時間やアプリの操作方法の習得など、基本的な技能を高めることで、ICTを活用して協働的な学びが進められるようにする。また、情報モラルを育むための実践や、教員自身の情報活用能力向上をめざす研修を行う。	
指標 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 「ゆとりの日」を月2回程度設定する等、「学校園における働き方改革推進プラン」を促進する。	
指標 時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。	
取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 係活動や委員会活動による取組、図書に関する掲示物の工夫、学級・学年文庫の充実、学校司書との連携を通して、児童が読書習慣を身につけられるようにする。	
指標 - 児童アンケート「よく読書をしている」において、肯定的に回答する児童を65%以上にする。 - 保護者アンケート「学校は、子どもが読書をする環境を整えている」において、肯定的に回答する保護者を65%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取組内容】について（進捗状況を具体的に記述し、取組の成果や実施上の課題などを記述）

- ①
- ②
- ③

今後の改善点

【取組内容】について（課題のあった取組ごとに、課題に対する改善点や方策を記述）

- ①
- ②
- ③